

2023.12.7 (木)
第 21 回例会
(通算3736回)

2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴
副会長 樋口 貴広
幹事 佐藤 貴之
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2023-2024 年度
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう
2023-2024 年度
RI会長 ゴードン R. マッキナリー
第 2500 地区ガバナー
鶴見 誠一郎 (叙別港 RC)

月間テーマ

疾病予防と治療月間

本日のプログラム

「釧路ロータリーカップアイスホッケー大会報告会」(青少年奉仕委員会)

次週例会

「クリスマス家族会」(親睦活動委員会)

- ロータリーソング：君が代・ ■ソングリーダー：吉田 英一君
- 会員数 101 名
- ビジター
- ゲスト

会長の時間

後藤 公貴会長

皆さん、こんにちは。ご存知のとおり 12月3日に姉妹クラブ・台北中央ロータリークラブの38周年のチャーターナイトにお邪魔するために台湾台北市を訪問させていただきました。そして昨日の夕方、釧路に帰ってまいりました。総勢18名の訪問でした。参加いただきましたメンバーの皆さま、そしてご家族の皆さまにこの場を借りて感謝申し上げます。

特にこの度の準備・設えに尽力を賜りました国際奉仕委員会・工藤委員長、そして日台親善協会の一員としてもご尽力を賜りました木下君にも心より感謝を申し上げます。本当に楽しい旅の設え、ありがとうございました。

そして若手と言われるメンバーが数名参加しましたが、現地で大変機敏に働いていただいて、楽しく旅ができたことに協力いただいていたのだと思って改めて感謝を申し上げます。

12月21日にこの度の訪問の報告例会をさせていただきますので、詳しくはそちらで珍道中の模様をお聞きいただきたいと思います。

本日は12月5日に訪問させていただいたファーリエ



ン、花蓮市の話をしただけさせていただきます。

2022年8月に釧路市と台湾の花蓮市が友好交流協定を締結されたことはご存知の方も多いと思います。そういうことから民間外交の一環として私たちが表敬訪問としてお邪魔をさせていただきました。この友好都市の成り立ちは、台北駐日経済文化代表処札幌分処の粘処長と釧路市のマッチングによって花蓮市との交流がスタートしております。2023年1月には、蝦名市長と議員団が花蓮市を訪問されております。そして本年6月には、花蓮市長と議員の一行が釧路市役所を表敬訪問したことで、過去2回の行政との交流があったところですが、花蓮市は人口は約10万人でしたが、10万人とは思えないほど大きな街で、活気にあふれる街だと思っておりました。

お昼に食事をごちそうになったのですが、海が近いことで海鮮系が多くて、お魚の刺身とかお魚料理を堪能させていただきました。釧路から向かうと、料理は台北よりこちらが口に合うかなと感じています。

この友好都市の目的は、文化・芸術・体育を中心にあらゆるところで協力して、お互いの国の振興に努めて行きたいと花蓮市長からお話がありました。花蓮市長は38歳と若くて超エリートです。花蓮市のエリート家系で、前の市長は自分の兄だった。当然、お父さんもお爺ちゃんも、みたいに政治一家の家系ということで、なかなかのおぼっちゃんという印象を受けました。これに関連して、12月5日の釧路新聞、私たちは向

こうにいたのでリアルタイムで見えてはいないですけど、釧路空港と台湾桃園国際空港を結ぶチャイナエアラインの国際チャーター便が2024年1月26日から2月11日まで8便就航することが決定しています。これは釧路市が向こうの行政・航空会社との折衝により実現したのですが、これには台湾から700名位の観光の方が訪れる。こちらからも何名かが行くという設えだろうと思いますけれども行政対行政だけの付き合いでは、このような施策・政策はうまく行かないと現地では思いました。我がクラブの小船井修一君が日台親善協会の会長を務められていて、木下君が事務局、工藤君も事務局、といったところで民間外交が盛んに行われている土壌があって、行政だけではなく民間との交流の中の信頼関係から大きな政策・施策の実現に向かって行くんだと、市長の話、行政の方の話、日本人側の話聞いて、そのような感想を持ちました。花蓮の市役所の方に何度も呼び止められて、「もっともっと花蓮に来てくれ」「もっともっと、いろんな所で交流したい」「うちのロータリークラブと友好クラブになってくれ」「姉妹クラブになってくれ」とものスゴイ勢いで熱弁をされました。姉妹クラブ云々は私の一存では決められることではないのですが、いらっしゃる皆さんの中でも国際的な仲間を増やして行って、ロータリークラブの価値観やわれわれの価値観を共有することは大切なことだと確認できたし、気づかせていただきたいいい機会になりました。毎年、台湾の訪問はやって行きますし、来年のチャーター便のチャンスもあります。ぜひ機会をつくっていただいて、他の国でいろいろなことを吸収していきっかけにこの釧路ロータリークラブがならせていただければと思います。来年、高橋年度でもたくさんのメンバーで訪問させていただければと思っています。最後に、ひとつご報告させていただきます。先週、開催させていただきました年次総会の中で、前年度活動報告及び決算報告の中で少々分かりづらい部分があったと私ども理事会として認識させていただきましたので、来週はクリスマス会なので再来週12月21日の例会の前段でもう一度前年度の決算及び活動報告をさせていただきたいと思えます。皆さまにはU S Bで前年度の活動報告及び決算報告をお配りさせていただいておりますので、それを確認していただいてから、次週の例会に臨んでいただければと思っておりますのでこの場でご報告申し上げます。今日は、過日開催されました釧路ロータリーカップの報告例会です。土居先生より貴重な話、また数名のメンバーより貴重な話を賜りたいと思えます。本日も有意義な時間を共有してまいりましょう。ありがとうございました。

幹事報告 佐藤 貴之幹事

皆さま、こんにちは。後藤会長が台北の周年におかれまして、中国語でカラオケを歌っております。4Kで撮影しましたのでどこかで機会がありましたらご披露させていただきます。

幹事報告です。今月のロータリーレートは147円です。続きまして来週のクリスマス家族会ですが、会場がこちらの2階となっております。ここ数年3階の大きい会場でやっておりましたが、来週はこちらですのお間違いのないようお願いいたします。

以上です。

委員会報告

公益財団法人釧路ロータリー嵯峨記念育英会

西村 智久理事

4カ月に1度業務報告をなささいという定款に則って業務報告をさせていただきます。

本日、3回目の奨学金を支給してきま

したので、問い合わせがあった場合は入っていることを教えてあげてください。

また、みずほ銀行さんで借りていた貸金庫の口座が4・5年前から動いていなかったのが本日、解約してまいりました。こちらを釧路信金さんに入金してまいりましたので理事の皆さまへの報告です。よろしくお願いたします。杉村君しかいないのですが、皆さまにもいつか理事になっていただきたいと思います。以上、報告です。



■本日のプログラム■

釧路ロータリーカップアイスホッケー大会報告会

青少年奉仕委員会

曾我部 元親委員長



青少年奉仕委員会の本年度最後の事業であります釧路ロータリーカップアイスホッケー大会が先月の25・26日に無事終了しました。お忙しい中、参加していただきました会員の皆さま、ありがとうございました。

最初に、土居先生からロータリーカップのスライドを使って報告をしていただきたいと思います。先生、よろしくお願いたします。

北海道釧路工業高等学校 監督 土居 功弥先生



皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました釧路工業高等学校アイスホッケー部監督・土居功弥と申します。本大会の実行委員長

を務めさせていただきました。

本日は釧路ロータリークラブ例会の中で貴重な時間をいただき大会報告ができますことに感謝申し上げます。

例年ですと、ここから動画の鑑賞をしていただいたのですが、今回が第30回ということで、東北北海道高校アイスホッケー大会が始まってからの大会の成績なども調べてまいりましたのでスクリーンを使用して本大会の報告とお礼を述べさせていただきます。

今回、30回目を迎えることができました釧路ロータリーカップは、形式が変わって今回が7回目となりました。過去の成績はスクリーンのとおりです。また、本大会を経験し、プロで活躍している選手も数多くいますのでご紹介いたします。今年、話題にもなっている北海道ワイルズをはじめ、苫小牧市に本拠地があるレッドイーグルス北海道にも数多くの選手が活躍しております。栃木県にあるH.C.栃木日光アイスバックス、青森県八戸市に本拠地がある東北フリーブレイズ、デュアルキャリアでも話題になりました横浜GRITなど各チームで釧路ロータリーカップを経験し、プロで活躍している選手がたくさんいます。

ここ数年、新型コロナウイルスの影響でこの釧路ロータリーカップを開催することができませんでした。昨年は例年と異なり、新しい試みとして釧路の武修館高校、江南高校、湖陵高校、工業高校、釧路連合の5チームを3チームに再編成し、試合を行いました。昨年度も私はこの例会にご招待いただき、大会の報告とお礼を述べさせていただきました。その際にこの場で「来年度は、例年どおりの開催を目指していきます」という話をさせていただき、今年度無事に大会を開催することができて、釧路ロータリークラブの皆さまには大変感謝をしております。

本大会はスライドにありますとおり、武修館高校、江南高校、工業高校、今大会はチーム事情から棄権となりましたが湖陵高校の釧路からの4チームに加え、例年参加いただいている苫小牧東高校、北海高校、北海道清水高校、今回初参加となりました北海道栄高校、選手スタッフ含め177名の参加となりました。

特に地元の私が監督をしている工業高校もそうですが、工業高校は部員が10名、江南高校は7名、湖陵高校は9名ととても部員が少ない中、他の地区の高校と試合ができたことについては選手にはいい経験に

なつたと実感しております。

ここからは本大会の様子を写真で振り返っていきまふ。開会式では、前回大会優勝の釧路江南高校に優勝旗並びに優勝カップを返還していただき、今大会の副会長・釧路ロータリークラブ会長後藤公貴様よりご挨拶をいただきました。選手宣誓は釧路江南高校主将・竹内 玲温選手に努めていただきました。ご存知の方もいると思いますが竹内選手のお父さんは日本製紙クレインズで活躍した竹内元章さんです。息子さんも同じ背番号「32」を付けてプレーをしております。

開会式終了後、出席いただいた会員の皆さま、開会式に参加した4チームで記念の写真撮影を行いました。

続いて試合の結果をお伝えします。1回戦、苫小牧東高校と武修館高校はご覧のスコアになっていますが大差で武修館高校が勝ち、ここからあまり話したくないのですが、釧路工業は北海道栄に2対12という結果になっております。釧路江南高校と北海高校の試合は第3ピリオドに江南高校が4連続得点をしていい流れがあったのですが、惜しくも敗戦となりました。準決勝の北海高校と北海道清水高校は0対13、北海道栄高校と武修館高校は0対10。例年の大会に比べ、かなり点差が付く試合が多くなったという印象を受けました。三位決定戦は北海高校と北海道栄高校は2対5。決勝戦の清水高校と武修館高校は3対2で清水高校が勝っています。

最終成績になります。3位・北海道栄高校、4位・北海高校、以下スライドのとおりとなっております。準優勝は武修館高校、優勝は北海道清水高校という結果となりました。

最後の閉会式では、後藤公貴様よりご挨拶をいただき、大会の閉幕となりました。

本大会の開催にあたりまして、後藤会長をはじめ、会員皆さまから多大なるご理解とご支援を賜りまして準備段階から大会終了まで無事に終えることができましたことに深く感謝申し上げます。また、当日の試合観戦から閉会式まで長時間にわたりご出席くださり重ねてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

ご存知の方も多いと思いますが、今月の23日土曜日から苫小牧市で全道高校アイスホッケー大会が開催されます。釧路からは今大会に出場の4チームが参加し、1月中旬に青森県八戸市で行われるインターハイの出場権獲得を目指して戦ってきます。

大会発足当初の多くの選手に出場の機会を与え、競



技の普及・発展を目指すという根本的な考えは様々な形式や様式を変えながらではありますが、今の大会にも継承されているところでもあります。30年間という長期間に亘り釧路ロータリークラブの皆さまには本大会の実施にあたり温かく見守っていただき、また、ご支援を賜り本当に感謝申し上げます。

多くの選手が実戦的な経験を積み、技術力や精神力を向上させ、チーム力の底上げを図ることとか、様々な人たちに支えられてアイスホッケーをする環境ができてきていることに感謝の気持ちを持つという育成の面からも本大会が果たしている意義には素晴らしいものがあると私自身も実感しております。

最後になりますが、今大会の継続実施を考えるため会員の皆さまからのご理解とご支援をいただけるように今後も実行委員会が中心になって頑張っていきたいと考えております。

次年度以降の開催についてもこれから進めて行くところではありますが、先ほどもご紹介しましたが釧路勢の部員数減少とチーム数の減少などもあり、今大会に出場できなかったチームもあることなどの実情を踏まえ、今後も釧路の高校ホッケー界が発展して行くために各校の顧問の先生方とも連携をして進めていきたいと考えております。

本日はこのような場を設けていただきまして誠にありがとうございました。

以上で大会の報告とさせていただきます。

ご挨拶 白幡 博会員

土居先生、ご丁寧にありがとうございます。実は、私も工業高校の卒業でありまして、当時の私の友人たちが高校のアイスホッケーを一生懸命にやるものですから、つつい熱くなった時代をちょっと思い出しておりました。



土居先生が現在の状況をお話しております。きょうは皆さんに、当時若手でした私からお話できることは、当時の状況で「選手が試合に出られません」というお話が高校の先生方、父兄の皆さんからアイスホッケーが大好きな私どもの先輩須貝さんであって、先輩が「みんな、集まれ」と言って、集まったのが小田君、五明君、中井君、私、という当時の若手でした。「お前たち、何とかしろ」ということです。

きっかけは、そういうことだったのですが、氷都釧路の街の元気のためにということも含めて、「よし、みんなで何かいいアイデアを作ろう」と考えて出来上がったのがこのロータリークラブの大会でした。先生方もホントに真剣に、熱心に、私たちも一緒になって

汗をかいた大会ができたと思います。

思い出すと、さっき見ました優勝カップ、優勝旗はこのクラブの60周年記念の時に、浅川会員が会長の時で、泉先生が実行委員長の人に記念として「大会にふさわしい優勝旗があったらいいね。甲子園で見るあのような素敵な優勝旗が欲しいね」「大きい優勝カップも欲しいね」ということで会員の皆さんに問いかけ、お願いをして集まった金額が確か100万円以上が集まりました。その資金をもって優勝旗・優勝カップを作り、さらに頑張った選手、優勝した学校にはメダルとか、優秀選手、最優秀選手、フェアプレー賞などなど考えて盾・トロフィーを作った記憶もあります。

これは先生からのお話で確かな情報ですが、当時の江南高校の大島先生、北陽高校の沢崎先生は何度も私どものクラブに来ていただいておりましたが、子どもたちがいただいたトロフィーや盾を教室でクラスメートに自慢をするのだそうです。「俺はこれだけ頑張ったんだ」とアピールをしていたと聞いております。もうひとつは、先生方が本当に感謝をしている言葉でした。「大学の進学、企業への就職の時に、ロータリーカップに出場した優秀な選手であると内申書に書くことできるのです」という話をよくされました。ロータリーカップのロータリー、われわれはロータリーと普通に呼んでいますが、世界のロータリーなものですから大学の先生も含めて「ロータリーカップ、すごい大会で優勝しているんだね」「すごい大会でこの人は活躍したんだね」と先生の評価も高く、それを励みに選手・子どもたちも頑張ったという話を聞いております。もうひとつのエピソードとして、今は普通なのかもしれませんが、女性の選手も参加をすることになりました。この女性の参加から、釧路の女子の高校生が卒業してから一般のクラブチームに入っていたのですが、長野オリンピックにも出場になり、今現在では世界選手権にも日本の女子が活躍しています。世界ランキング7位です。男子は残念な位置ですが、地区の子どもたちが胸に日の丸を付けて、世界選手権、オリンピックに出場し活躍をし、自分自身の活動・成長につながっていることもこのロータリーカップを経て、「白幡さん、こういうことです」という先生からのお話を聞いた時に、まさにロータリーカップがこれから時代とともに変わっては行くと思いますが、更に歴史を刻んで行って欲しいものと思います。

それから、今日、出席しております先輩、栗林さんは釧路アイスホッケー連盟の会長でもありました。今回、私どもの仲間である谷川君が会長になります。そんなことで、この氷都釧路のアイスホッケーをとおして地域子どもたちにもっともっと活躍をしていただける大会になったらいいなという想いを持っております。それをみなさんと、これからも支えて欲しいと思いません。

ちょうどいい時間ではないかと思えます。よろしくお願いたします。ありがとうございます。

ご挨拶 後藤 公貴会長

私からはお礼の言葉と、私がいま思っていることを雑駁になりますがお話をさせていただきます。

土居先生をはじめ、指導者の皆さま、父兄の皆さま、そして関係者の皆さまにこの30回目の大会がつつがなく、事故もなく終えていただいたことに心から感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

そして、わがクラブの今年度のロータリーカップの運営にご尽力いただきました岩田委員長、曾我部委員長をはじめとする委員会メンバーの皆さま、そして当日二日間わたり観戦に訪れていただいた方、写真撮影などお手伝いをいただいた方にも心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

今日、お二人の話を聞いて、釧路の高校アイスホッケーを取り巻く環境が大変厳しいところにあるとご理解いただけたかと思っております。

実は、土居先生にお伝えしますが、われわれは1つのテーマに沿って少人数ですが話し合いをする事業があります。その中で、メンバー全員で「今後、ロータリーカップはどうなるんだろう。どうして行くべきなのだろう」の話をさせていただいた機会がありました。ここでそれを云々という話はしませんけれども、私、個人的には、このロータリーカップをズーっと続けて行くべきであろうかと思っております。30年間、運営と下支えをさせていただいたこの競技、そして氷都釧路を標榜する土地柄でありますから、このアイスホッケーはまさに代表する競技だと思っております。例えば、「開催が困難だから、今年は・・・」となってしまうと、二度と元に戻すことは難しいと思っております。ただ、諸事情はあります。だから、こうい

う時だからこそ、目的は誰のために、何のために開催するのだ、の原点に帰ってもう一度考えることが必要だと考えるのです。

先生の話からも、子どもたちの健全育成に大変役立っているという力強い言葉をいただきました。それに沿って、本当に子どもたちのためになっているのか、そしてこの街のためになるか、ということ突き詰めて考えていって、これから決算など出るとは思いますけど、早い段階から来年の運営に向けての話合いを私、次年度の会長、次々年度の会長が決まっておりますのでその方と、白幡さんをはじめ大会に深く携わっていただいた想いのある皆さんのご意見を集約をしながら、私どもこの競技に対してはズーっと支えてまいりたいと思っておりますので引き続きのご尽力、支援の輪を広げる活動を続けてまいりましょう。今後ともよろしくお願したいと思っております。

最後になります。いま白幡君が話していただいたように、当時の苦労とか、当時のエピソードを聞く機会があまりなかったように思います。できればこういう会の中で、また夜に一杯を飲みながらの会の中で、大切にしていたわれわれのロータリーカップというアイスホッケーを支える事業をもう一度、皆さまに自分事のように考えていただいて「われわれはどうすべきか」という方向をみんなで決めて行く一年間にさせていただきたいと思っております。

ホントに最後になりますが、今大会の運営に広告・協賛を賜りました皆さまにも深く感謝を申し上げます。そして土居先生にはこの運営に対するご苦労に改めて感謝、お礼を申し上げます。私からのお礼と所感とさせていただきます。本年度も大変ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 後藤 公貴君 台湾台北市より無事戻ってきました。
- 工藤 彦夫君 台湾に行ってきました。ありがとうございます。
- 村上 祐二君 謝謝！

今年度累計 181,000 円

釧路ロータローカップアイスホッケー大会

2023年11月25日・26日

